

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用の者へは、サービスの内容など説明する機会はあるが、既存の職員へは、法人全体で行う説明以外に自事業所での個別の説明はできていない。 オンライン研修においても、急な職員の欠員などで参加率を増やせていない。 口頭伝達のみ、メモのみ、ICTへの入力のみと1つの方法に偏る職員も出ている。 <p>→意見としては</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝達や連絡について正確にきっちりと情報共有してもらいたい。 	<p>今後も新規採用の職員だけでなく、既存の職員へも看護小規模多機能のサービスの理解を深めるため、法人内外への研修へ参加する。</p> <p>参加した職員には、事業所へ戻りフィードバックを行う。</p> <p>情報共有においては、紙面・口頭からICTの活用になったが、その分ICTだけに偏るケースも見られており、情報共有のツールを1つにするのではなく、口頭やメモも活用した上で、ICTにて再度確認のできる環境を整える。</p>	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)	<ul style="list-style-type: none"> ICT化に伴い、情報の共有と確認は行いやすくなった。 意見を出す職員に偏りがある。 多方面から意見が出るようになってきているが、その反面、意見がまとまりにくくもなっている。 <p>→意見としては</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<p>ICTを有効活用し、こまめな情報の共有と振り返りを行いご利用者一人一人に合ったケアを進めるよう取り組む。</p> <p>様々な意見の中から、その方にあった支援を、多職種で話し合いより一層の支援につなげる。</p>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)	<ul style="list-style-type: none"> 各カンファレンスに参加できており、こちらからの情報提供書の送付と、相手側からの情報提供書も取得している。 意向伺いに関しては、状況変化に応じているが、全ての利用者に再確認を取れているわけではない。 24時間オンコールにて看護師より直接指示ができています。 オンラインとリアルでの運営推進会議の開催。 <p>→意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議は、対面の方が話しやすい。 	<p>コロナでなかなか、担当者会議などの開催が困難な場合がありますが、電話やメールなどを活用し、情報収集に努める。</p> <p>開催され参加人数の可能な限り、多職種での参加を行う。</p> <p>職員間の情報共有を強化し、担当医や家族への連絡の際、「看護側だけ」、「介護側だけ」「ケアマネ側だけ、、、」と言った一部の情報ではなく、トータルの情報を伝えられるように努める。</p>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目32～41)	<ul style="list-style-type: none"> 地域向け、少し離れた地域向け、家族向けと開催できた。 サロンにて体操のみではあるが再開。 社会福祉協議会主催の歌声サロンの再開。 鏡神社行事、飛鳥フェスティバル、防災訓練等への参加。 <p>→意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の複数参加をお願いしたい。コロナ前は、新しい職員の紹介など頻繁に現場職員の参加があった。 感染対策について歌声サロンとあすならサロンの統一でお後も行ってほしい。 	<p>歌声サロンの再開、あすならサロンの小規模再開（日数減少）ができており、今後については、サロンの回数を元の月6回行う。</p> <p>現段階では、食事作りや飲食を中止しているが、コロナの状況に合わせ、調理のない軽食からでも再開できるように毎月話し合いの場を設け、企画の作成を行う。</p> <p>現状行えている、サロン（体操）については、毎回、各部署持ち回りで担当を決め、参加する。</p>
III. 結果評価 (評価項目42～44)	<ul style="list-style-type: none"> 看取り意向の見直しを実施しているが、全員にまでは取れていない。 看護を中心に往診医と連携しているが、看護任せになりがち。 医療依存度が高い方の利用が無い状態。 臨機応変に通い泊り訪問を実施している。 実際、在宅での看取りを希望が少ないが病院ではなくホームでの看取りを希望される方が増加傾向。 <p>→意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> 世間でも看取りのケアを頻繁に耳にするようになってきている。家族としても事前に心づもりはするが、いざ実際その場になると家族は慌ててしまうため、その際の職員の方には相談役になってもらえると安心する。 	<p>看取りの意向について、全員のとり直しを実施している。初回時も必ず、契約時に意向を確認する。</p> <p>(看取りができなければ救急搬送の意向と搬送先の意向を聞く)</p> <p>病院からの看取りのケースも増えてきており、それ以外のケースも含め、利用されて数か月後に病院へその後の状況の報告に行く。</p> <p>また、地域の方々向けにも学習会を通し事例を発表したり、看護、介護、栄養、様々な方面からの情報の発信を行う。</p>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します